

## 「令和4年度病害虫発生予報第10号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・野菜では、トマトのコナジラミ類の発生が、関東、東海、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・茶では、カンザワハダニの発生が、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、いちごのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

### 国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104\\_yoho.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html)

### 気象

気象庁の向こう1か月の予報（3月2日付け）では、気温は北・東・西日本で高いと予想されています。降水量は西日本と沖縄・奄美で平年並か少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:[https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001\\_00.html](https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html)（外部リンク）

### 水稲

・トビイロウンカは、その年の気象条件や飛来量によっては大きな被害を引き起こします。本虫による被害の発生が懸念される地域では、効果の高い育苗箱施用剤による防除の実施についても検討してください。

・昨年、いもち病、もみ枯細菌病、ばか苗病等の種子伝染性病害の発生が多かった地域では、種子消毒を的確に実施し、健全な苗の育成に努めてください。薬剤感受性の低下がみられる場合があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、効果の高い薬剤を選定し種子消毒を実施してください。また、塩水選や温湯消毒といった物理的防除を実施する場合には、消毒効果を確実に得られるように、病害虫防除所等が示す手順・方法に沿って適切に実施してください。

・縞葉枯病は、ヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病であり、経卵伝染するため、本

虫を対象とした防除を実施することが重要です。近年、本虫の発生が増加傾向にある地域では、越冬量を抑制するため、冬期間中にイネ科雑草の除去及び再生株（ひこばえ）のすき込みを行うことが効果的です。未実施の地域では速やかに実施してください。

また、近年、本ウイルスを保毒している本虫の割合が高まっている地域では、育苗箱施用剤による防除の実施についても検討してください。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、昨年多発生となった地域では、多くの貝が越冬しているおそれがあります。今春の被害を抑えるため、移植前に取水口・排水口にネットや金網を設置するとともに、水田内の発生が多い場合には石灰窒素の散布の実施を検討してください。

また、移植時は薬剤散布を実施し、移植後は水深を4cm(理想は1cm)以下に維持する浅水管理を実施してください。

なお、スクミリンゴガイは、農機具・機械に付着した泥とともに他のほ場へ拡散することがあります。発生ほ場で使用した後は泥をよく落としてから移動させるよう心がけてください。農林水産省では、スクミリンゴガイの被害防止対策に関するマニュアルや動画などをホームページに掲載しています。詳しくは以下のURLからご覧ください。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>

## 野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類	中国、四国、南九州	関東、東海、近畿
	アブラムシ類	北関東、四国、北九州	東海、中国
	ハダニ類		関東、東海、四国、北九州
	うどんこ病		北関東、中国、四国、北九州
	灰色かび病	南関東、中国	北東北、北九州
きゅうり	アザミウマ類	四国	南関東
	コナジラミ類	北関東、四国	南関東
トマト	コナジラミ類	関東、東海、四国、九州	
	葉かび病	東海	四国
たまねぎ	アザミウマ類	四国	北九州
なす	うどんこ病	四国	東海
	灰色かび病	東海、四国	
ねぎ	アザミウマ類		近畿、四国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

## いちご

・アザミウマ類の発生が、中国、四国及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**アブラムシ類**の発生が、北関東、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、気温が高いと増加する傾向があるため、気温が高くなると予想される地域において本虫の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**灰色かび病**の発生が、南関東及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は気温20度前後の多湿条件で発病が助長されることから、換気等により施設内の湿度調節に努めてください。

また、本病は一部の薬剤に対する耐性菌の発生が確認されています。伝染源となるり病部は早期に除去するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果の高い薬剤を選定し、散布むらがないよう的確に散布してください。

### きゅうり

・**コナジラミ類**の発生が、北関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

### トマト

・**コナジラミ類**の発生が、関東、東海、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

### 果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
茶	カンザワハダニ	近畿、北九州	南関東、東海、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

### 果樹・茶共通

・**果樹・茶**では、病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、春期の病虫害の発生を抑制することが重要です。感染落葉やり病部を除去し園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、薬剤防除を的確に実施してください。

### 茶

・カンザワハダニの発生が、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想され、福岡県から注意報が発表されています。すそ部の葉裏をよく観察し、休眠から覚醒した暗赤色の雌が増え出したら、適切な防除を実施してください。薬剤防除の際には、薬剤抵抗性の発達回避のため同一系統薬剤の連用を避けるほか、薬液が葉裏に十分に届くよう丁寧に散布するなど心掛けてください。

## ■ サツマイモ基腐病の防除対策について

本病は感染したいもや苗がほ場内に持ち込まれることにより発生のまん延の可能性が高まるため、次期作には、健全種いもの確保、苗床の消毒等を実施することにより、健全な種苗を育成してください。また、本病のまん延防止には、り病株の早期発見が重要であることから、都道府県が発表する発生情報等を参考にしながら、ほ場観察を行ってください。なお、疑わしい症状を見つけた場合には、都道府県病虫害防除所等まで御連絡をお願いします。

## ■ 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年11月9日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

### ■ 警報

発表はありません。

注)重要な病虫害が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

### ■ 注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
11月28日	沖縄県	さとうきび	メイチュウ類
12月15日	長崎県	いちご	ハダニ類 (ナミハダニ、カンザワハダニ)
12月26日	沖縄県	小ギク(彼岸出荷用)	カスミカメムシ類 (主にウスモンミドリカスミカメ)
12月26日	沖縄県	小ギク(彼岸出荷用)	黒斑病、褐斑病
2月6日	岩手県	水稻	細菌病類 (もみ枯細菌病、苗立枯細菌病)
2月27日	福岡県	茶	カンザワハダニ

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病虫害が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

### ■ 特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
11月18日	宮城県	トマト	トマト黄化葉巻病
11月21日	和歌山県	さつまいも	サツマイモ基腐病
11月29日	岐阜県	キウイフルーツ	キクビスカシバ
12月9日	佐賀県	—	トマトキバガ
12月13日	熊本県	モモ、スモモ、ウメ	モモヒメヨコバイ
12月13日	熊本県	ゴボウ	ゴボウ軟腐病(仮称)
12月16日	宮城県	ねぎ	ネギリゾクトニア葉鞘腐敗病

12月21日	沖縄県	トマト	<i>Lisianthus enation leaf curl virus</i> (LELCV)
12月23日	三重県	さつまいも	サツマイモ基腐病
1月19日	大阪府	いちご	チバクロバネキノコバエ
1月23日	熊本県	ネギ	ネギハモグリバエB系統
2月3日	岐阜県	トマト	クロテンコナカイガラムシ
2月3日	岐阜県	フィロデンドロン	モトジロアザミウマ
2月3日	岐阜県	さつまいも	サツマイモ炭腐病
2月9日	福岡県	きく	キク小斑点病
2月10日	愛知県	さつまいも	サツマイモ基腐病
2月27日	秋田県	ねぎ	黒腐菌核病

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

## 用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) これまでの発表

第1号：4月13日(水曜日)

第2号：5月11日(水曜日)

第3号：6月8日(水曜日)

第4号：7月6日(水曜日)

第5号：7月20日(水曜日)

第6号：8月10日(水曜日)  
第7号：9月7日(水曜日)  
第8号：10月12日(水曜日)  
第9号：11月9日(水曜日)

**【お問合せ先】**

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、中村、吉田

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382